

 **Softube**

ユーザーズマニュアル

Tube-Tech CL 1B

Softube ユーザーズマニュアル

© 2007-2015. Amp Room は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Softube は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Marshall, Super Lead, Plexi, 1959 に関連するロゴ、及びすべての視覚と聴覚のリファレンスは、ライセンスを受けて使用している Marshall Amplification UK の商標です。Valley People Dyna-mite, Trident A-Range, Tonelux, Tilt への視覚と聴覚へのリファレンスは、PMI Audio から書面による許諾を得て使用されている登録商標です。Tonelux, Tilt logo, Valley People, Dyna-mite に関連するロゴ、Trident, A-Range, Triangle のゴロはライセンスに基いて使用されている PMI Audio Group の商標です。Summit Audio Inc. は、Baltic Latvian Universal Electronics, LLC の登録商標です。すべての仕様は予告なく変更することがあります。無断複写、転載を禁じます。

その他の会社名、および本書に記載されている商品名は、各社の商標、及び登録商標です。他社製品に関する記載は、情報提供のみを目的としており、保証、推奨するものではありません。Softube は、これら製品のパフォーマンス、または使用に関して一切の責任を負いません。

Softube 製品は、特許 SE526523, SE525332, 関連する特許/特許 WO06054943, US11/667360, US20040258250, EP1492081, EP1815459, JP2004183976 によって保護されています。

ユーザーへのソフトウェアへの権利は付属のソフトウェア使用許諾契約書 (EULA) に準拠しています。

謝辞とライセンスについて

‘zlib’ general purpose compression library version 1.2.8 の **zlib.h** インターフェイス, April 28th, 2013. Copyright © 1995-2013 Jean-loup Gailly と Mark Adler. このソフトウェアの一部は、copyright © 2006 **The FreeType Project** (www.freetype.org) です。すべての著作権を保有しています。**WonderGUI** は、Tord Jansson のライセンスに基づき使用されます。© 2004, 2006-2014 Glenn Randers-Pehrson による **Libpng** のバージョン 1.2.6, August 15, 2004 からバージョン 1.6.12, June 12, 2014 までは、同じ免責とライセンスに従って頒布されています。いくつかのコードは、copyright © 2008 **The NetBSD Foundation, Inc** が所有しています。**VST** は、Steinberg Media Technologies GmbH のソフトウェアであり、商標です。Mac OS X のヘッダーは、**Apple Public Source License (APSL)** の元でカバーされ、<http://www.publicsource.apple.com/apsl/> でご利用可能です。

免責事項

あらゆる努力は、このマニュアルに記載されている情報が正確であることを確認するために行われました。しかし、我々はミスを行っている可能性があり、我々も人間であるということをご理解いただけますと幸いです。ミスを発見した場合、我々にお知らせください。マニュアルの後のバージョンで修正します。

サポート

Softube のウェブサイト上 (www.softube.com) では、よくある質問 (FAQ) や、様々な他のトピックへの答えを見るけることができますでしょう。

サポート的な質問は、<http://www.softube.com>, にポストしてください。

我々は出来るだけ速やかにお答えします。Web: www.softube.com

E-mail: info@softube.com

Phone: +46 13 21 1623 (9 am - 5 pm CET)

もくじ

1	ユーザーインターフェイス	5
	メニュー列	5
	キーコマンド	6

2	<i>Tube-Tech CL 1B Compressor</i>	7
	John G. Petersen による序文	7
	CL 1B について	7
	ユーザーインターフェイス	8
	推奨する用途	10
	モノ/ステレオ・オペレーション	10
	クレジット	10

1 ユーザーインターフェイス

Softube プラグインは、“見たそのまま”の製品です。素早く、効率的に操作できるよう直感的に数分以内に使い方を覚えることができます。メニューのような Softube のすべてのプラグインで同じような部分がありますが、それについてはこの章で説明します。プラグインの特定の詳細な情報に関しては、それぞれの章を参照してください。

メニュー列

プラグインインターフェイスの下部には、いくつかのボタンと細い黒い列があります。ここでは例として、Bass Amp Room プラグインを使用しますが、他のプラグインでも同様です。

About Box “About”ボックスを開くと、バージョン情報を表示します。

Value Display マウスがコントロールしているノブの値を表示します。

Enable 有効/プラグインをアクティブにします。off にするとバイパスします。

Setup プラグイン全体の設定を変更する場合にはグローバル・オプションを使用します。



Enable

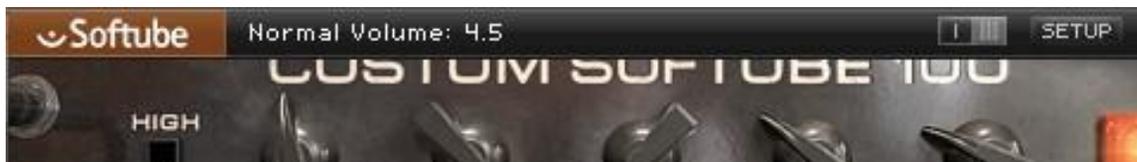
Enable スイッチがオンになっている場合 (i)、プラグインはアクティブになり、オーディオ処理がなされます。オフ (0) にするとバイパスされ、オーディオ処理されません。バイパス時の CPU 消費率はかなり少なくなります。

“About”ボックス

バリューディスプレイ

Enable

セットアップ



セットアップ

セットアップウィンドウでは、プラグインの特定のインスタンスに影響を与える設定を行います。例えば、“Show Value Display”オプションの選択を解除した場合、プラグインは再びそのオプションを選択するまでシステム上のすべてのバリューディスプレイはオフになります。

Windows と Mac の間では、異なるオプションに変わっている場合があります。また異なるフォーマットやプラグインでも同様です。一般的なオプションは以下の通りです。:

Show Value Display: プラグインの下の列でパラメーターと値の表示を有効にします。

Reverse Mouse Wheel Direction: (Mac OS のみ)
ノブの動きに合わせてマウスホイールの上下を変更することができます。(Mac OS のみ)

変更を有効にするには、ホストアプリ(DAW)を再起動する必要があります。

もし、何かを台無しにしてマニュアルでこのオプションを設定する必要がある場合は、下記の場所にテキスト形式でそれらを見つけることができます。:

Mac OS: ~/Library/Application Support/Softube

Windows: username¥Application Data¥

キーコマンド

プラグイン内のすべてのナンバーとラベルはクリックすることができます。これは簡単に希望する値を入力、設定することができます。ラベルの上にマウスを乗せると指差し型のポインターに変更されます。

マウス

UP/DOWN マウスホイール:

ノブやスイッチのパラメーター変更方法を選択

キーボード

ファインアジャスト ⌘ (Mac)、Ctrl (Win)

パラメーターの値を微調整する場合に使用

パラメーターのリセット

Alt キーを押しながら、ノブやフェーダーをクリックするとデフォルト値にリセットされます。

2 Tube-Tech CL 1B Compressor

John G. Petersen による序文

数年間考慮した後、TUBE-TECH CL1Bのプラグインをプラグイン化するタイミングが来たと判断しました。

プラグインの開発は、Lydkraft、Softube、TC Electronic の間で協力され、2006年11月に始まりました。その結果を聞いて、我々は、オリジナル・サウンドに近く、ハードウェアの特性のすべてをユーザーに与えることができるという難しいゴールに達することができるかと革新しました。ソフトウェアを入念にテストした後に2007年後半に公表されました。

このプロジェクトの大きなステップは遠く、プラグインのVST/AU/RTASバージョンを2009年の春先にリリースすることを決め、Softubeによって開発作業を進めることとなりました。

スウェーデンの若者のスキルに非常に感銘を受け、我々のCL 1Bのクオリティをすべてのワークステーションのユーザーが使用できることに興奮を感じています。

TUBE-TECH CL 1B プラグインの卓越した能力をお楽しみ頂けることを願っています。

敬具


John G. Petersen

President, Lydkraft/Tube-Tech



CL 1B について

ハードウェアの CL 1B は、ゲインリダクション・エレメントをノンセミコンダクター・コンポーネントから作るという点で、他の多くのコンプレッサーとは異なり、本来は大部分をセミコンダクターを使用している場合に起こる低いハーモニック・ディストーションや、ノンリアリティに関する問題を含みません。CL 1B プラグインを開発するときにこれらの設計上、重要な選択のすべてをモデリングしています。

CL 1B の特別な機能のもう1つは、ユーザーがマニュアルとフィックス(固定)アタック/リリース・設定を切り替えることができるアタック/リリース・セレクトスイッチですが、マニュアルとフィックス・セッティングを組み合わせることも可能です。

これは、他のコンプレッサーでは得られない特徴を与えます。: 複合モードでは、アタックとリリース・コントロールが、可能な場合は素早いピークの場合は速いリリース、その逆の対応もプログラムに応じて対応したリリースタイム・スロープを得ることが可能です。



ユーザーインターフェイス

ゲイン

ゲインコントロールは、ユニットがコンプレッションを行った際に起こるゲインリダクションを補正するために使用します。これはゲインリダクション・サーキットの後に配置され、スレッショルドには影響を与えません。ゲイン・コントロールは、オフ～+30 dB まで連続的に設定可能です。

レシオ

レシオは、インプットされたシグナルがコンプレッションされる比率をコントロールします。レシオを 2:1 に設定した場合、インプット・シグナルは 10dB だったとすると、アウトプット・シグナルは 5dB だけになります。レシオ・コントロールは、2:1 ~ 10:1 まで連続可変でコントロール可能です。

スレッショルド

スレッショルドは、コンプレッサーがアクションを開始するポイントです。これは、ゲインが 1dB だけリダクションされる点として定義されます。スレッショルド・コントロールは、連続的に+20 dB ~ -40 dB までの間で設定可能です。

メーターセレクト

VU メーターが表示する内容を指定します。:

Input: インプット・レベルを表示します。

Compression: ゲインリダクション値を表示します。

Output: インプット・レベルを表示します。

これはピークや本当の RMS を表示しないことにご注意ください。これは VU メーターで、オリジナル・ユニットのように動作します。

メーターとプラグインはキャリブレーションされ、アウトプットで 0 VU を示すサイン波は、アウトプットで、-18 dBFS に相当します。メーターが、インプットに設定されている場合は、18 dBFS が 0 VU に相当します。

アタックタイム アタック・コントロールは、どのくらい速く/遅くコンプレッサーがインプット・シグナルの増加にレスポンスするか選択します。

リリースタイム リリース・コントロールの設定は、インプットシグナルの減少にどのくらい速く/遅くレスポンスするかを設定します。0.05 ~ 10 sec の間で設定可能です。

**アタック/リリース
セレクト** このスイッチは、コンプレッサーがインプット・シグナルの増加(アタック)、または減少(リリース)に対してどのように反応するかを選択します。

スイッチには、3つの設定があります。:

FIXED: アタックタイム: 1 msec、リリースタイム 50 msec

MANUAL: アタックタイム: 0.5 ~ 300 msec、リリースタイム: 0.05 ~ 10 sec

FIX/MAN: この設定は、固定値とマニュアル・モードのリリースタイムを兼ね備えています。アタックタイムは固定モードです。

FIX./MAN.モードは、常に速いアタックを持ち、ピークが消えたときにリリース・コントロールによって選択したリリースタイムよって直後に置き換えられ、その後、素早いリリースタイムをえるためにインプット・シグナルに依存するリリースタイムを得ることができます。

ピークが消滅するポイントに達し、選択したリリースタイムが引き継ぐ時間は、アタック・コントロールに依存します。つまり、アタック・コントロールの変更は、同じ時間帯の純粋なアタック・コントロールから遅れたリリース・コントロールに機能を変更します。

リリース・コントロールが引き継ぐまでの時間を長くするには、アタック・コントロールを時計回りに回してください。リリース・コントロールが引き継ぐまでの時間を短くするにはアタック・コントロールを減少させてください。

この機能は、ピークの時間がアタック・コントロールの設定よりも短い場合にのみ有効です。プログラムのピークが長い場合、アタック・コントロールが最少位置に設定されている場合それだけでマニュアル・モードと同様にレスポンスします。

FIX./MAN. モードは、コンスタントに速いアタックタイムとオートリリース機能、そして短いピークに短いリリースと長いピークに長いリリースタイムとして動作します。この設定は、主にプログラムマテリアルでの使用に意図されています。(全体的なコンプレッション)

推奨される使用方法

ここでは、Tube-Tech CL 1B compressor プラグインの様々な使用方法の提案があります。コンプレッサーを使用する様々な側面を理解するための便利なガイドとして使用可能です。ゲインやスレッショルドのセッティングはインプット・レベルに依存するため特定の設定に言及していません。その代わりに、感じる dB 値でどれくらいのコンプレッションが必要かを説明しています。

これらの例は、CL 1B ハードウェア・マニュアルから抜粋されており、プラグインも同様に動作するので有効です。

全体的なコンプレッション (ファイナルミックス)

必要なコンプレッション: 3-4 dB

アタック/リリース・セレクト: FIX./MAN.

アタック: 2 時

リリース: 10 時

レシオ: 9 時

標準的なコンプレッション (Bass、Piano、Guitar、Keys、Vocals)

必要なコンプレッション: 4-5 dB

アタック/リリース・セレクト: マニュアル

アタック: 2 時

リリース: 10 時

レシオ: 10-2 時

ヘビー・コンプレッション: 楽器 (ライン・ギター & ピアノ)

必要なコンプレッション: 10 dB

アタック/リリース・セレクト: マニュアル

アタック: 7 時

リリース: 1 時

レシオ: 3 時

ドラムのコンプレッション (スネア・バスドラム)

必要なコンプレッション: 2-3 dB

アタック/リリース・セレクト: FIXED

アタック: -

リリース: -

レシオ: 9~12 時

モノ&ステレオ オペレーション

ステレオ・モードでは、左右チャンネルのゲインリダクションは、ステレオ・イメージのずれを低減するために常にリンクされます。使用されるゲイン・リダクションは、まるで 2 つのハードウェア CL1B がサイドチェイン・バスを使用してリンクされるように 2 つのチャンネルの組み合わせから計算されます。

クレジット

Arvid Rosén - モデリング Oscar Öberg - モデリング & DSP プログラミング Torsten Gatu - フレームワーク & DSP プログラミング Niklas Odelholm - GUI & フレームワーク・プログラミング Ulf Ekelöf - 3D レンダリング John G. Petersen (Lydkraft ApS) オリジナルハードウェア設計

TUBE-TECH は、LYDKRAFT ApS (DENMARK) の登録商標です。すべての仕様は予告無しに変更する場合があります。すべての著作権を保持しています。



Softube AB, S:t Larsgatan 10c, 582 24 Linköping, Sweden. www.softube.com